

第228回鳳雛講座 令和4年7月5日（火）

7月5日（火）に、（株）TOMUSHI社長の石田健祐さん（25歳）を講師に迎えて、第228回鳳雛講座を開講しました。石田さんは、18歳で上京し東京メトロに就職後、自分のやりたい仕事を見つけるためにDMMへ転職しました。その後、IT関連のベンチャー企業の起業を経て、20歳のときに祖母の家のある大館市に居を構えました。その後、双子の弟や弘前大学教授らと今の会社「（株）TOMUSHI」を立ち上げ、社長に就任した経歴をもっています。石田さんの会社のコンセプトは「昆虫の力でゴミを資源化し、世界の食糧不足を解消する。」です。世界人口が年々増加し続ける現状では、2030年には人類のタンパク質需要量が供給量を上回る予測が出ており、その不足するタンパク質を減菌したカブトムシの乾燥粉末を混ぜたクッキーなどを食料にして補おうとするプロジェクトに取り組んでいます。椎茸栽培やそこで廃棄される菌床を餌にしたカブトムシの生産、太陽光パネルを使ったソーラーシェアリング事業、福祉事業など様々な関連する事業を行っており、宮城県をはじめ、日本全国に工場があります。生徒に年齢が近く、「昆虫を食料にする」という話題に興味津々で、講演終了後の質疑応答も活発に行われました。自分のやりたい仕事を模索しながら起業し、さらには将来的に海外進出も視野に入れていると語った石田さんの熱い思いが伝わってくる有意義な講演でした。



























